

令和 4 年度
長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修
(小・中・義務教育学校)
実施細目

目 次

1	目的	1
2	研修の対象	1
3	未受講者の取扱い	1
4	研修の実施時期	1
	(1) 実施期間	1
	(2) 実施時期	1
5	研修の延期、受講変更等	1
	(1) 翌年度以降に延期する場合	1
	(2) 予定していた研修を受講できなくなった場合	1
	(3) 当日の欠席、遅刻	1
6	研修の概要	2
	(1) 校外における研修	2
	(2) 校内における研修	2
7	評価	3
	(1) 自己評価	3
	(2) 校長による評価	3
	(3) 評価	3
8	各提出書類の作成及び提出方法	3
	(1) 中堅教諭等資質向上研修評価票	3
	(2) センター研修受講希望調査票	4
	(3) 研修実施計画書	4
	(4) 研修実施報告書	4
	(5) 社会体験研修実施報告書	5
	(6) 提出期限	5
	(7) 各提出書類の流れ	6
	(8) 研修に関わる文書の保管	6
9	各種研修の内容	7
	(1) 全体研修	7
	(2) 校種別研修	7
	(3) 選択研修	8
	(4) 社会体験研修	8
	(5) 地区研修	8
	(6) 授業研修	9
	(7) メンター研修	9
10	実施協議会	9
11	実施運営委員会	9
12	その他の配慮事項	10
	(1) 学校の研修体制	10
	(2) 指導に当たっての配慮事項	10
別紙 1	中堅教諭等資質向上研修の受講対象となる期間についての特例措置	11
別紙 2	長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施協議会組織図	12
別紙 3	長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施運営委員会の構成	13
別紙 4	センター研修受講希望調査票 記入例	14
別紙 5	中堅教諭等資質向上研修（選択研修）指定講座一覧	15
別紙 6	中堅教諭等資質向上研修 研修実施計画書・報告書 記入例	16

1 目的

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）は、県内の公立小・中・義務教育学校（以下「小・中学校」という。）に勤務する本務経験 11 年目に該当する教諭等に対して、教育公務員特例法第 24 条に基づき、個々の能力・適性等に応じて計画的に研修を行い、ミドルリーダーとして組織運営を推進したり、学習指導や生徒指導等の専門性を高めたりする資質の向上を図ることを目的とする。

2 研修の対象

中堅教諭等資質向上研修の対象者は、本務経験 11 年目の教諭等（以下「中堅教諭等」という。）とする。ただし、受講対象となる期間についての特例措置は、別紙 1 に示すとおりとする。

なお、受講予定者については、前年度末に調査する。

3 未受講者の取扱い

過年度までに一定の事由により中堅教諭等資質向上研修を受講していない者も対象となる。

4 研修の実施時期

(1) 実施期間

県教育センターで実施する全体研修の実施をもって開始し、原則として翌年 1 月末までに全ての研修を修了する。

(2) 実施時期

原則として勤務日とする。

5 研修の延期、受講変更等

(1) 翌年度以降に延期する場合

- ・ 翌年度以降に延期する者については、中堅教諭等資質向上研修受講延期届（様式 6）を 令和 4 年 4 月 11 日（月） までに、関係市町教育委員会を通じて県教育センターに提出する。
- ・ 受講延期が複数年にわたる場合は、年度ごとに提出する。

(2) 予定していた研修を受講できなくなった場合

- ・ 一定の事由により、予定していた研修を受講できない事態が生じた場合は、関係市町教育委員会を通じて県教育センターへ電話連絡を行う。
- ・ 電話連絡後、受講延期届（様式 6）または受講変更届（様式 7）を提出する。

(3) 当日の欠席、遅刻

- ・ 当日の欠席や遅刻については、関係市町教育委員会を通じて県教育センターへ電話連絡を行う。
- ・ 県教育センターの Web サイトより、研修講座の関係書類（欠席届・遅刻届）をダウンロードして必要事項を記入し、関係市町教育委員会を通じて県教育センターに提出する。
- ・ 欠席した講座の代替措置等については、県教育センターより関係市町教育委員会を通じて連絡する。

6 研修の概要

(1) 校外における研修

研修の区分		担当機関等	日数	研修内容
セン タ ー 研 修	全 体 研 修 (P 7 参 照)	県教育センター	1 日	中堅教諭等に対して、ミドルリーダーとしての幅広い見識を養う研修を行い、教員としての資質向上を図るとともに、研修全般のガイダンスを行う。
	校種別研修 (P 7 参 照)	県教育センター	2 日	ミドルリーダーとして求められる資質や能力を育成するための研修を行う。
	選 択 研 修 (P 8 参 照)	県教育センター 等	1~2日 (1講座)	研修実施計画書により、中堅教諭等の自己の課題に応じた教科指導等の専門性を高める研修を行う。
社会体験研修		所 属 校	3 日	「社会体験研修実施要領」参照
地 区 研 修	教 育 課 題 研 修 (P 8 参 照)	実施運営委員会	2 日	喫緊の教育課題や教科等の指導技術の向上等、中堅教諭等に必要であると考えられる内容についての研修を行う。

(2) 校内における研修

研修の区分		担当機関等	日数	研修内容
授業研修 (P 9 参 照)		所 属 校	1 日	教科等指導力の向上を図るために、自己の課題に応じた研究授業や授業研究会及び校内研修の企画運営等を、原則として年間 1 回実施する。
メンター研修		所 属 校 等	通年	「メンター研修実施要領」参照

所属校：中堅教諭等が所属する学校

センター研修の講座形態について

集 合 型：県教育センターにおいて、研修期日に受講する研修

ハイブリッド型：集合型とオンデマンド型を組み合わせた研修

リアルタイム型：所属校等において、研修期日に県教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで受講する研修

オンデマンド型：所属校等において、期間内に県教育センターが配信する動画を視聴して受講する研修

7 評価

(1) 自己評価

中堅教諭等は、下記の(3)に基づき、事前に中堅教諭等資質向上研修自己評価票（様式2）（以下「自己評価票」という。）を作成し、校長に提出する。また、全ての研修修了後に事後評価を行い、自己評価票に追記して校長に再度提出する。

(2) 校長による評価

8の(1)参照

(3) 評価（指標の第2ステージを参考にして、次の4段階で評価すること。）

段階	評 価 の 目 安
4	中堅教諭等として、十分満足できる。
3	中堅教諭等として、おおむね満足できる。
2	中堅教諭等として、あまり満足できない。
1	中堅教諭等として、満足できない。

8 各提出書類の作成及び提出方法

(1) 中堅教諭等資質向上研修評価票

評価票の作成 及び提出	ア 校長は、7の(3)に基づき、日頃の観察や自己評価票等を参考の上、中堅教諭等資質向上研修評価票（様式3）（以下「評価票」という。）の事前評価、事後評価の欄に数値で記入する。 イ 評価の根拠となる事由や参考となる事実があれば、特記事項の欄に記入する。 ウ 全ての研修修了後、作成した評価票は、関係市町教育委員会を通じて県教育センターに提出する。
留意事項	ア 評価票は、個人情報等に配慮し、取扱いに注意する。また、その内容については、中堅教諭等の今後の研修や指導等に生かすようにする。 イ 校長は、中堅教諭等の日頃の実践状況の観察に努め、その変容について情報収集を行うとともに、副校長・教頭・主幹教諭・各主任、関係教育委員会指導主事等の意見を聞き、多面的に評価することが望ましい。

(2) センター研修受講希望調査票

調査票の作成 及び提出	<p>ア 校長は、県教育センターが行う受講予定者等調査に基づき、中堅教諭等資質向上研修センター研修受講希望調査票（様式１）（以下「調査票」という。）を作成する。該当者がいない場合は、氏名欄に「該当者なし」と記入する。</p> <p>イ 校長は、該当者の有無にかかわらず、調査票を、関係市町教育委員会に提出する。</p> <p>ウ 市町教育委員会は、提出された調査票を取りまとめて県教育センターに提出する。</p> <p>エ 選択研修講座については、提出された調査票を基に県教育センターが受講講座を決定し、関係市町教育委員会を通じて、校長に通知する。</p> <p>オ 県教育センター主管の研修講座については、受講決定後の受講申込みは不要とする。ただし、体育保健課主管の「体保 8、9、10、11、12」の各講座については、改めて各学校から体育保健課に受講申込みをすること。</p> <p>カ 一定の事由により変更する必要がある場合は、関係市町教育委員会を通じて県教育センターに問い合わせる。変更決定後は、速やかに受講変更届（様式 7）を、関係市町教育委員会を通じて県教育センターに提出する。</p> <p>調査票の記入に当たっては、別紙 4 の記入例を参照すること。</p>
留意事項	<p>ア 全体研修 該当者には、「 」を記入する。</p> <p>イ 校種別研修 該当者には、「 」を記入する。</p> <p>ウ 選択研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定講座（別紙 5 参照）から希望する順に第 3 希望まで記入する。 ・ 講座内容の詳細は「令和 4 年度研修講座一覧」（長崎県教育センター Web サイト）を参照すること。 <p>エ その他 過年度の受講延期者については、備考欄にその事由を記入する。</p>

(3) 研修実施計画書

計画書の作成 及び提出	<p>ア 校長は、中堅教諭等について事前評価及び関係研修機関等の実施計画等に基づき中堅教諭等資質向上研修実施計画書（様式 4）（以下「研修実施計画書」という。）を作成する。ただし、社会体験研修については、県教育センターにおける全体研修（4 月）修了後に作成する。</p> <p>イ 校長は、作成した研修実施計画書を関係市町教育委員会に提出する。</p> <p>計画書の記入に当たっては、別紙 6 の記入例を参照すること。</p>
----------------	--

(4) 研修実施報告書

報告書の作成 及び提出	<p>ア 校長は、全ての研修修了後、中堅教諭等資質向上研修実施報告書（様式 4）（以下「研修実施報告書」という。）を作成する。</p> <p>イ 校長は、作成した研修実施報告書を関係市町教育委員会に提出する。</p> <p>ウ 関係市町教育委員会は、校長から提出された研修実施報告書について、実施内容を精査した後、県教育センターに提出する。</p> <p>報告書の記入に当たっては、別紙 6 の記入例を参照すること。</p>
----------------	--

(5) 社会体験研修実施報告書

- ・中堅教諭等は、社会体験研修修了後、研修実施報告書（様式４）６ 社会体験研修に取組内容等を記載する。

(6) 提出期限

提出期限等は次のとおりとする。

< 関係文書提出期限一覧 >

研修計画等に関わるもの

	関係文書名	使用様式	提出方法	提出期限	
				学校 市町教委	市町教委 県教育センター
1	調査票	様式 1	メール	市町教育委員 会で定める。	令和 4 年 4 月 1 1 日（月）
2	研修実施計画書	様式 4			提出の必要なし
3	研修実施報告書	様式 4			令和 5 年 2 月 3 日（金）
4	受講延期届	様式 6			令和 4 年 4 月 1 1 日（月）
5	評価票 親展扱い	様式 3	郵送		令和 5 年 2 月 3 日（金）

受講変更等に関わるもの

	関係文書名	使用様式	提出方法	提出期限		
				学校	市町教委	県教育センター
1	受講変更届	様式 7	メール	変更の事態が生じた場合に速やかに提出		
2	欠席届	P 1 5 (3)参照		欠席せざるを得ない事態が生じた場合に提出		

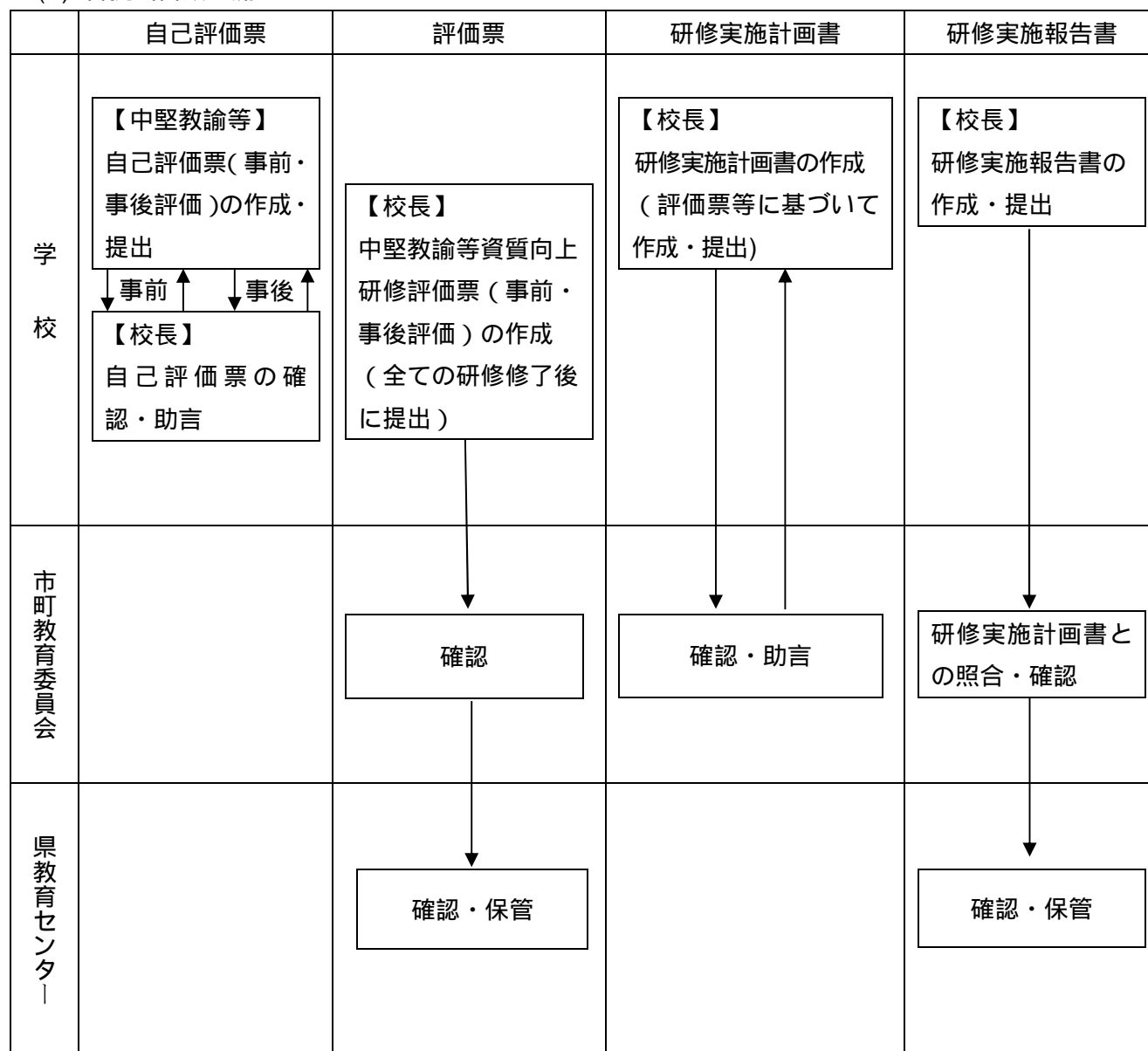
提出先 長崎県教育センター所長宛

< メールアドレス > center-gimu@pref.nagasaki.lg.jp

< 住所 > 〒856-0834 大村市玖島 1 丁目 24-2

郵送の場合には、封筒表に「義務 中堅教諭等研修関係書類在中」と朱書きする。

(7) 各提出書類の流れ



(8) 研修に関わる文書の保管

校長は、作成した関係書類を5年間保管する。

9 各種研修の内容

校外における研修

(1) 全体研修

受講の準備

中堅教諭等資質向上研修実施細目を熟読の上、参加する。詳細は、研修講座実施要項の指示に従う。

研修の内容

職 種	講座番号	講 座 名	期 日
教諭等	セ 5	【リアルタイム型】 公立学校中堅教諭等資質向上研修 (全体研修)	4月28日(木)

(2) 校種別研修

受講の準備

県教育センター Web サイトより研修講座実施要項等(実施月の1か月前の月初めにアップ)をダウンロードして指示に従う。

研修の内容

【小・中学校】

職 種	講座番号	講 座 名	期 日
教諭等	セ 5 0	【集合型】 公立小・中学校中堅教諭等資質向上研修 (校種別研修)	9月15日(木) 9月16日(金)

(3) 選択研修

受講の準備

ア 県教育センター主管の講座

県教育センターWeb サイトより研修講座実施要項等（実施月の1か月前の月初めにアップ）をダウンロードして指示に従う。

イ 体育保健課主管の講座

体育保健課への受講申込み手続きにより、各学校から改めて申し込み、指示に従う。

研修の内容

各講座により異なるため、研修講座実施要項で確認をする。

代替措置

ア 免許状更新講習

免許状更新講習の受講期間と中堅研教諭等資質向上研修の受講時期が同一年度に重複している場合は、選択研修を代替することができる。

イ 該当者研修

該当者研修（公立小・中学校「次代を担うミドルリーダー」研修講座）の受講と中堅教諭等資質向上研修の受講時期が同一年度に重複している場合は、選択研修を代替することができる。

1 選択研修の代替を希望する場合は、調査票（様式1）の備考欄にその旨記入し、選択研修の欄に斜線を入れる。（別紙4参照）

2 選択研修の指定講座一覧については、別紙4を参照すること。

留意事項

ア 小学校教諭等は、所属長の指導のもと、教科指導力の向上というねらいを踏まえ、適切に研修講座を選択する。

イ 中学校教諭等は、所持している主たる免許状の教科の研修講座を受講する。

(4) 社会体験研修

「社会体験研修実施要領」を参照すること。

(5) 地区研修

研修名	実施日数	目的・内容等
教育課題研修	2日	学校運営の推進者として一層の資質向上を図るため、喫緊の教育課題や教科等の指導技術の向上、もしくはミドルリーダーとしての在り方等について研修を深める。 【内容例】 ミドルリーダーとしての心構えに関すること 特色ある学校づくりに関すること 服務（法規）に関すること 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関すること 外部講師による講話 等

実施日数は、地区の実態に応じて2日を超えて設定してもよい。なお、1日の研修時間は、地区の実態に応じて定める。

校内における研修

(6) 授業研修

自己の課題に応じた研究授業や授業研究会及び校内研修の企画運営等を、原則として年間1回実施する。

研究授業を実施するに当たり、事前に教材研究や指導案検討等、管理職や先輩教員等の指導を受ける。

研究授業終了後は、必ず参加者を交えた授業研究会を行う。

(7) メンター研修

「メンター研修実施要領」を参照すること。

10 実施協議会

実施協議会の組織は、長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施協議会組織図（別紙2）のとおりとし、年1回程度実施協議会の会長が招集する。開催期日は、2月第3週の金曜日を原則とする。

令和4年度開催期日（予定） 令和5年2月17日（金）

11 実施運営委員会

(1) 実施運営委員会は、必要に応じて実施運営委員会の会長が招集する。

なお、各実施運営委員会に所属する市町は、中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施運営委員会の構成（別紙3）のとおりとする。

各地区における主管教育委員会は、令和4年4月4日（月）までに主管教育委員会、会長、事務局（担当指導主事）を県教育センター（教科・経営研修課）にメールにて、報告する。また年度途中に、会長等に変更があった場合は速やかに報告する。

(2) 実施運営委員会は、年間の全体研修計画に基づき、中堅教諭等資質向上研修地区研修年間実施計画書（様式5）（以下「地区研修年間実施計画書」という。）を作成し、関係小・中学校に示す。

また、地区研修終了後、中堅教諭等資質向上研修地区研修年間実施報告書（様式5）（以下「地区研修年間実施報告書」という。）を作成し、県教育センターに提出する。

提出期限は次のとおりとする。

	関係文書名	使用様式	提出期限
1	主管教育委員会及び会長名、事務局	任意様式 （メール）	令和4年4月 4日（月）
2	地区研修年間実施計画書	様式5	
3	地区研修年間実施報告書	様式5	

(3) 実施運営委員会の運営に係る予算及び執行手続き等については、別途通知する。

12 その他の配慮事項

(1) 学校の研修体制

中堅教諭等に中堅教諭等資質向上研修の趣旨等の周知を図り、効果的な研修の実施に努める。

全教員による協働的な研修体制を確立し、中堅教諭等資質向上研修を通じた校内研修体制の活性化に努める。

校内における研修時間を確保するため、中堅教諭等の校務分掌等の軽減を図る。

課業期間中の研修において、自習などの事態が生じないよう代替等の措置を講ずる。

研修時間は、原則として週時程内で設定する。放課後にやむを得ず研修を行う場合には、教育活動に支障がないように配慮するとともに、負担過重にならないよう配慮する。

(2) 指導に当たっての配慮事項

教員の指導力に対する社会の関心・要求が高まっていることに鑑み、地域や家庭の学校に対する期待等を十分に確認した上で、中堅教諭等の指導を行う。

研修内容は、講義による指導だけでなく、協議・体験・作業などによる実践的、具体的な事例を取り上げるなど、中堅教諭等の能力や適性に応じ、主体的に取り組めるよう工夫する。

中堅教諭等が直面している指導上の問題点や悩み等を研修内容の設定に生かす。

学校や施設の訪問、研修会への参加の際には、事前に日頃の実践や自分の考え等をまとめておき、積極的に意見の交換や情報収集に努めるよう指導・助言する。

研修の成否は中堅教諭等の意欲如何によるところが大きいことから、本人が教育公務員としての使命感をもって積極的に研修に参加できるよう配慮する。特に、受身的な研修に終始しないよう指導・助言する。

中堅教諭等資質向上研修の受講対象となる期間についての特例措置

1 対象者

中堅教諭等資質向上研修の対象者は、原則として 11 年目の教諭等とする。

ただし、41 歳以上で在職 1 年目を迎え、46 歳以上で若手第 2 ステージ研修の対象になる者は、所属長の判断を踏まえ、下表に示すとおり、若手第 2 ステージ研修の期間内に中堅教諭等資質向上研修を受講する。

【中堅教諭等資質向上研修の受講可能な期間】

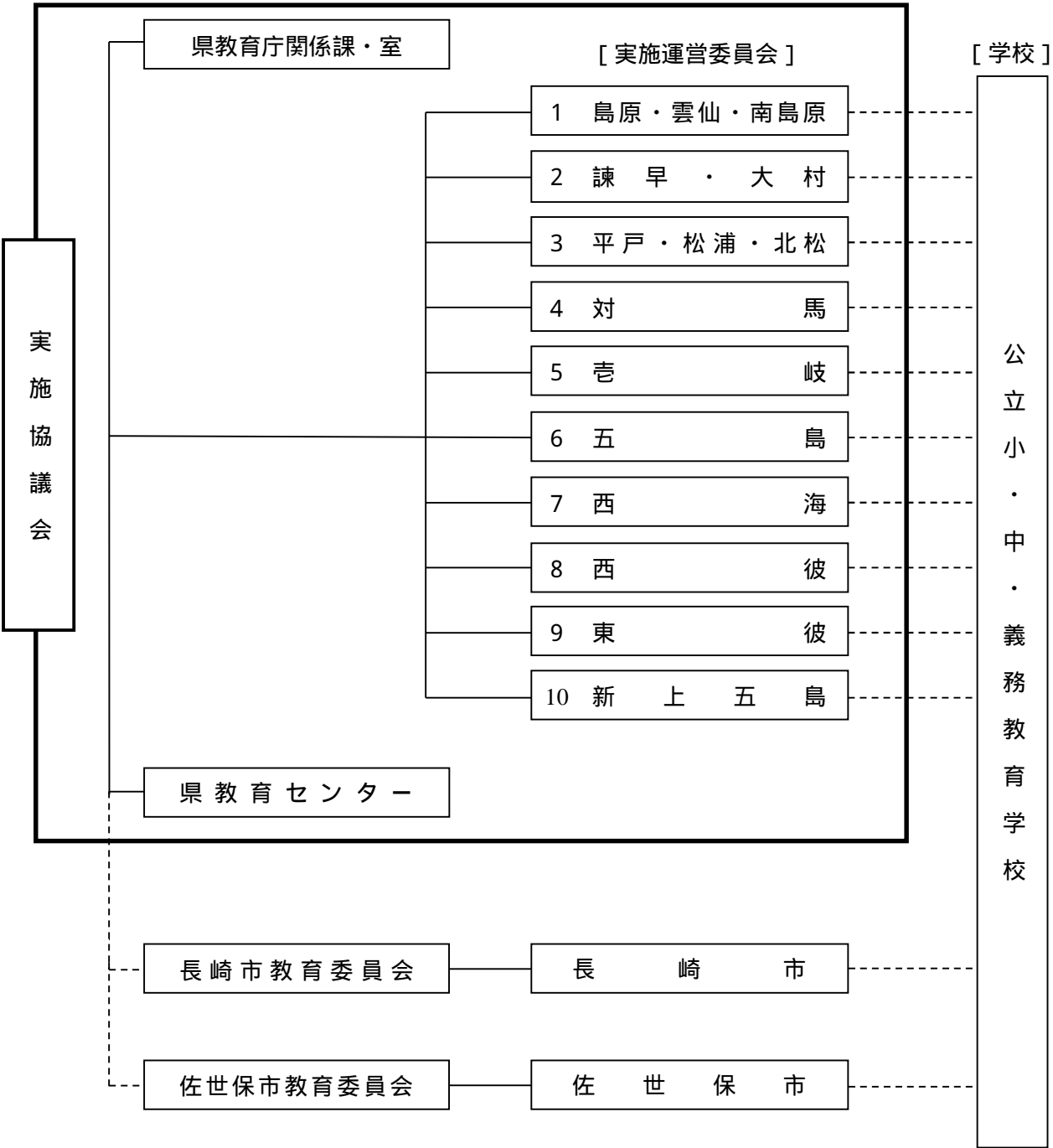
在職 年数	1 年目	2 年目 ~ 5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目	10 年目	11 ~ 15 年目	16 年目
研修	初任研	若手研	若手第 2 ステージ研					自主研修	15 年研
年度内に達する年齢	41 歳	研修受講	中堅教諭等資質向上研修の 受講可能な期間						56 歳 (任意)
	42 歳	"							57 歳 (任意)
	43 歳	"							58 歳 (任意)
	44 歳	"							59 歳 (任意)
	45 歳	"							60 歳 (任意)
	46 歳	"							
	47 歳	"							
	48 歳	"							
	49 歳	"							
	50 歳	"							
	51 歳	"							
	52 歳	"							
	53 歳	"							
	54 歳	"							
	55 歳	"							

2 中堅教諭等資質向上研修の修了後の研修

特例措置となる者は若手第 2 ステージ研修を受講し、11 年目以降は自主研修期間とする。

また、15 年経過教員研修の受講は、任意とする。

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施協議会組織図



別紙 3

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）実施運営委員会の構成

	実施運営委員会	該 当 市 町
1	島 原 雲 仙 南島原	島原市 雲仙市 南島原市
2	諫 早 大 村	諫早市 大村市
3	平 戸 松 浦 北 松	平戸市 松浦市 佐々町 小値賀町
4	対 馬	対馬市
5	壱 岐	壱岐市
6	五 島	五島市
7	西 海	西海市
8	西 彼	長与町 時津町
9	東 彼	東彼杵町 川棚町 波佐見町
10	新上五島	新上五島町

別紙4【記入例】

令和4年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修 センター研修受講希望調査票

様式1

令和3年度以前に選択研修のみ受講延期していた場合は、全体研修、校種別研修の欄に斜線を入れ、備考欄にその旨を記入する。

番号	学校名	氏名 職員番号 (免許取得教科)	全体 研修	校種別 研修	選 択 研 修			備考
					第1希望 講座番号 講座略称	第2希望 講座番号 講座略称	第3希望 講座番号 講座略称	
例1	A町立 A小学校	大村千太 075000	○	○	セ16 小理	セ58 小図工	セ71 小国	
例2	A町立 A小学校	玖島桜子 075001			セ85 小外国語	体保10	セ86 小音	令和3年度一部(選択研修)を受講延期で今年度受講
例3	A町立 B小学校	大村寿美 075002						免許状更新講習と同一年度による代替措置

令和4年度に免許状更新講習を受講し、選択研修の免除を希望する場合は、選択研修の欄に斜線を入れ、備考欄にその旨を記入する。

令和4年度に文部科学省等主催の中央研修に参加し、研修の免除を希望する場合は、全ての欄に斜線を入れ、備考欄にその旨を記入する。

例4	A町立 C中学校	玖島花 075003 (保健体育)						文部科学省主催の中央研修(学校マネジメント研修)に参加
例5	A町立 D中学校	玖島学 075004 (数学)			セ63 中数			所持している主たる免許状の教科の研修講座がない場合は斜線を入れる。
例6	A町立 D中学校	大村空子 075005 (英語)			セ60 中外国語			令和元年度一部(校種別研修、選択研修)を受講延期で今年度受講

令和3年度以前に校種別研修並びに選択研修を受講延期していた場合は、全体研修の欄に斜線を入れ、備考欄にその旨を記入する。

別紙 5

1 中堅教諭等資質向上研修（選択研修）指定講座一覧【小学校】

県教育センター主管の研修講座			
講座番号	講座形態	研修講座名	期 日
セ 16	ハイブリッド	小学校理科「問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む授業づくり」研修講座	6/2(木)-6/3(金)
セ 58	ハイブリッド	小学校図画工作科「造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり」研修講座	9/29(木)-9/30(金)
セ 71	ハイブリッド	小学校国語科「言葉による見方・考え方を働かせる授業づくり」研修講座	10/24(月)-10/25(火)
セ 73	集 合	小・中学校社会科「公民としての資質・能力を育む授業づくり」研修講座	10/27(木)-10/28(金)
セ 77	ハイブリッド	小学校算数科「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」研修講座	11/1(火)-11/2(水)
セ 85	ハイブリッド	「コミュニケーション能力」を育む小学校外国語教育研修講座	11/24(木)-11/25(金)
セ 86	ハイブリッド	小学校音楽科授業力アップ研修講座	11/28(月)
体育保健課主管の研修講座			
体保 8	集 合	体育・保健体育指導力向上セミナー 主に女性対象の講座 経年研修受講者は男性でも受講可 (県立総合体育館：長崎市)	8/1(月)
体保 9	集 合	体育・保健体育指導力向上セミナー (東部スポーツ広場体育館：佐世保市)	10/5(水)
体保 12	集 合	表現・ダンス指導者研修会 (県立武道館：佐世保市)	12/7(水)

2 中堅教諭等資質向上研修（選択研修）指定講座一覧【中学校】

県教育センター主管の研修講座			
講座番号	講座形態	研修講座名	期 日
セ 56	ハイブリッド	中学校理科「科学的に探究するために必要な資質・能力を育む授業づくり」研修講座	9/28(水)-9/29(木)
セ 57	ハイブリッド	中学校美術科・高校芸術科(美術)「造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり」研修講座	9/28(水)-9/29(木)
セ 59	集 合	中学校音楽科・高校芸術科(音楽)授業力アップ研修講座	9/29(木)
セ 60	リアルタイム	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた中学校外国語科の授業づくり研修講座	9/30(金)
セ 63	集 合	中学校数学科「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」研修講座	10/6(木)-10/7(金)
セ 65	ハイブリッド	中学校技術・家庭科、高校家庭科教育研修講座	10/7(金)
セ 73	集 合	小・中学校社会科「公民としての資質・能力を育む授業づくり」研修講座	10/27(木)-10/28(金)
セ 76	集 合	中学校国語科「言葉による見方・考え方を働かせる授業づくり」研修講座	10/31(月)-11/1(火)
体育保健課主管の研修講座			
体保 9	集 合	体育・保健体育指導力向上セミナー (東部スポーツ広場体育館：佐世保市)	10/5(水)
体保 10	集 合	柔道指導者研修会 (大村市立玖島中学校：大村市)	10/20(木)
体保 11	集 合	剣道指導者研修会 (県立総合体育館：長崎市)	11/17(木)
体保 12	集 合	表現・ダンス指導者研修会 (県立武道館：佐世保市)	12/7(水)

中堅教諭等資質向上研修 研修実施計画書・報告書

計画書・報告書のいずれかのみを示し、提出する。

所 属 校 名	
職・氏名	

1 センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
4月28日	1	教育センター	教職員の服務と心構え 研修の進め方 ミドルリーダー 教職員のためのメンタルヘルス

2 センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
9月15日 9月16日	2	教育センター	教育実践の省察（ラウンドテーブル） 講義・演習「学校運営を意識したミドルリーダーとしての在り方」 協議「メンターとしての現状と課題」

3 センター研修（選択研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
6月2日 6月3日	2	教育センター	小学校理科「問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む授業づくり」研修講座研修講座 代替措置の場合 【免許状更新講習】 幼稚園教育と小学校教育の接続について

4 授業研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
7月7日	1	校内	社会科研究授業 研究協議

5 メンター研修

(1) メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容
5月24日	初任者	○初任研ミーティング「学級の児童について語ろう」 ○特別に支援が必要な児童について
9月24日	3年目教員（数学科）	○進学（就職）検討会の実施について ○定期考査の実施と評価について

枠の数は自由に変更して記入すること

(2) メンター研修の成果及び課題

まだ教えてもらう立場だという感覚があり、メンティに対して力強くリーダーシップをとることができたとは言い難い。今後は、常にメンターとしての意識をもって行動したい。

6 社会体験研修

(1) 社会体験研修における取組内容

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
8月2日 ～ 8月4日	3	公民館 等	地域と連携した研修 ・ 公民館主催による地域の花植え活動への参画

「事業所等における研修」「地域と連携した研修」のどちらを実施したかが分かるよう記入すること

(2) 社会体験研修における成果及び課題

地域の活動に運営側として積極的、継続的に関わった経験を生かし、その後、総合的な学習の時間の担当として地域を巻き込んだ教育課程の見直しを行うことができた。

令和4年度

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（小・中・義務教育学校）

様式集

様式1	中堅教諭等資質向上研修 センター研修受講希望調査票
様式2	中堅教諭等資質向上研修 自己評価票
様式3	中堅教諭等資質向上研修 評価票
様式4	中堅教諭等資質向上研修 研修実施計画書・報告書
様式5	中堅教諭等資質向上研修地区研修 年間実施計画書・報告書
様式6	中堅教諭等資質向上研修受講延期届
様式7	中堅教諭等資質向上研修「センター研修（選択研修）」受講変更届

令和 4 年度 中堅教諭等資質向上研修 センター研修受講希望調査票

番号	学校名	氏 名 職 員 番 号 (免許取得教科)	全体 研修	校種別 研修	選 択 研 修			備考
					第 1 希 望	第 2 希 望	第 3 希 望	
					講座番号 講座略称	講座番号 講座略称	講座番号 講座略称	

【留意点】
該当者がいない場合は、氏名欄に「該当者なし」と記入する。
受講する必要がない研修の欄には斜線を引く。
講座略称の書き方には特に決まりはない。（実施細目の記入例を参照のこと）
免許取得教科は、中学校教諭についてのみ記入する。

別紙 3 の記入例を参照すること。

中堅教諭等資質向上研修 自己評価票

所 属 校 名		
中堅教諭等 職・氏名		
提出日	事 前 評 価	令和 年 月 日
	事 後 評 価	令和 年 月 日

視 点		事前評価	事後評価
教職に必要な素養	法令遵守の精神を踏まえ、自ら範を示すとともに児童生徒に指導することができる		
	人権尊重に基づいた児童生徒理解をし、指導するとともに、学校の人権教育推進のために行動することができる		
	学年（学校）で生じている課題を把握し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる		
	教育公務員としての自覚のもと、児童生徒への教育的愛情と学び続ける意欲をもち、組織を牽引する働きができる		
	長崎県の特徴を理解し、そのよさを児童生徒たちに伝えとともに、自分たちが住んでいる地域のよさや課題について取り上げることができる		
学校運営 連携・協働	学校教育目標を理解するとともに、学級経営、教科経営及び学年経営等の方針を策定し、同僚性や協働性を発揮しながら、積極的に実践することができる		
	保護者、地域、関係機関等と積極的に関わり、地域とともにある学校の核として、連携・協働した対応をすることができる		
	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる		
教育課程 学習指導	担当する教科等に関する専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる		
	カリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、地域の人材等を活用するなどして、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づいた指導計画を作成し、深い学びの実現を図る単元や授業の組み立てを工夫することができる		
	児童生徒の特性を理解し、教材等の見方・考え方を生かすなどして、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開することができる		
学級経営 児童生徒理解 生徒指導 等	学年全体の児童生徒の実態を把握し、より望ましい集団づくりを組織的に進めることができる		
	教育相談や日常の観察を通して、児童生徒の気持ちや行動の背景を理解することができる		
	個々の児童生徒の状況を理解し、同僚と協力しながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる		
	キャリア教育の視点をもって、児童生徒の夢や憧れ、志を育む学習や体験を深化させることができる		
特別支援教育	個々の障害に対して適切に対応するとともに、特別支援教育の理念や意義を全体の教育に反映させることができる		

評価は、指標の第2ステージを参考にして、4段階（4・3・2・1）で記入する。

中堅教諭等資質向上研修 評価票

所 属 校 名	
中堅教諭等 職・氏名	

1 各視点に関する事前評価

視 点	評価	特 記 事 項
教職に必要な素養		
学校運営 連携・協働		
教育課程 学習指導		
学級経営 児童生徒理解 生徒指導 等		
特別支援教育		

2 各視点に関する事後評価

視 点	評価	特 記 事 項
教職に必要な素養		
学校運営 連携・協働		
教育課程 学習指導		
学級経営 児童生徒理解 生徒指導 等		
特別支援教育		

3 メンターとしての資質に関する評価

--

4 今後の資質向上に関する意見

--

令和	年	月	日
学校名			
校長名			

令和 4 年度 中堅教諭等資質向上研修 研修実施計画書・報告書

所 属 校 名	
中堅教諭等 職・氏名	

1 センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

2 センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

3 センター研修（選択研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

4 授業研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

5 メンター研修

(1) メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容

行数は自由に変更して記入してよい

(2) メンター研修の成果及び課題

--

6 社会体験研修

(1) 社会体験研修における取組内容

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

「事業所等における研修」「地域と連携した研修」のどちらを実施したかが分かるよう記入すること

(2) 社会体験研修の成果及び課題

--

令和 年 月 日

学校名 _____

校長名 _____

中堅教諭等資質向上研修地区研修 年間実施計画書・報告書

作成日：令和 年 月 日（ ）

地区名		主管教育委員会名	教育委員会
-----	--	----------	-------

1 教育課題研修（小学校 中学校 小中共通）

実 施 期 間	月 日（ ） ～ 月 日（ ）		
研修予定者数	人	講師延べ人数	人
研 修 会 場			
研 修 内 容 等			

文 書 番 号
令和 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

学校名
校長名

(公印省略)

令和 4 年度 中堅教諭等資質向上研修受講延期届

下記のとおり、受講を延期することを報告します。

記

1 受講者の職名・氏名・職員番号

職 名	氏 名	職 員 番 号

2 延期する研修（あてはまる研修を にし、選択研修の場合は研修講座名を記入する。）

全ての研修	
校種別研修	
選択研修	講座名
社会体験研修	

3 受講予定年度

--

4 延 期 の 理 由

--

様式 7

文 書 番 号
令和 年 月 日

長崎県教育センター所長 様

学校名
校長名

(公印省略)

令和 4 年度 中堅教諭等資質向上研修「センター研修（選択研修）」受講変更届

以下のとおり、受講講座の変更を報告します。

1 受講者の職名・氏名・職員番号

職 名	氏 名	職 員 番 号

2 受講変更の内容

[変更前]

講座番号	
期 日	
講 座 名	



[変更後]

講座番号	
期 日	
講 座 名	

3 変更の理由